

(令和7年7月18日発表)

三保飛行場における次世代エアモビリティの試験飛行の初実施

◆アピールポイント	<p>静岡市では、清水区三保にある滑走路（通称：三保飛行場）を市が管理し、次世代エアモビリティの実証フィールドとしての供用を開始します（6/5市長定例記者会見にて公表）。これに伴い、企業・大学による初の試験飛行を実施します。</p>
◆内容など	<p>【日時】 令和7年7月29日（火）11時～12時 ※予備日なし ※実施は前日正午時点の気象予測をもとに決定し、HP上に掲載します） 静岡市 HP（URL：https://www.city.shizuoka.lg.jp/s7524/s013063.html）</p> <p>【実施主体（共同実施）】 (株)コントレイルズ、静岡理工科大学、ヤマハ発動機</p> <p>【実施内容】 無人電動垂直離着陸機(eVTOL)及び無人ヘリコプタによるデモ飛行 飛行前に滑走路上に機体を展示⇒堤防での飛行撮影⇒実施者による取材対応</p> <p>【取材受付場所】 静岡市清水区三保 2244 番地先（下記図のとおり） ※取材いただける場合は、7/28（月）17時までに下記問合せまでご連絡ください。</p>  <p>※狭くわかりづらいので注意</p>
◆施設概要	<p>三保飛行場は、1969年4月に「一般社団法人日本飛行連盟」が、海岸管理者である静岡県の占用許可を受けて整備・開設し、救難飛行等の目的で活用されてきました。近年は、同連盟による利用が終了し、静岡県が管理していました。</p> <p>静岡市が多面的活用の可能性を確認したため、滑走路等を日本飛行連盟からの無償寄付により取得し、公共海岸の占用手続きを経て、管理を開始しました。</p>

別紙資料 有・無

【問合せ】BX 推進課（浪漫館 14 階）

担当 今川、山本悠

電話 054-354-2656